

# 蓄電システム e-Pocket 設定・操作ガイド（シャープ製4.8kWh蓄電池）

## 『蓄電池キープ残量設定』の使い方： 災害前には『キープ残量設定』を変更しましょう

台風、計画停電などの停電にあらかじめ備えるとき

もしもの停電に備え、『キープ残量設定』を切替えることで、安心してお使い頂けます。停電にあらかじめ備えるときは、前日までに切替えてください。

『非常時安心設定』とは 停電がおきても、蓄電池から電気を使えるよう、設定した割合の充電残量を 常に残しておく設定です。  
 (設定範囲: (0%、10%、20%、30%、40%、50%、60%、70%、80%、90%、100%))

『キープ残量設定』を設定して頂くと、停電がおきても、照明、冷蔵庫、テレビ、携帯電話などが使える電力を残します。

【設定時の動作】 充電残量が設定値以上の場合： 残量が設定値になるまで放電後、停電に備えて放電停止します。  
 充電残量が設定時未満の場合： 停電後に備えて放電を停止し、設定時以上に充電されると放電開始します。

普段の使い方

蓄電池は、充電残量 をすべて使うことで、電気代の節約ができます。

設定例

どんなとき

非常時安心設定

台風、計画停電などの停電に、  
あらかじめ備えるとき

100%

停電に備えて、非常時安心設定を電池残量の100%に設定すると、一晩の停電でも、必要最低限の不安を解消できます。

<使える家電の目安> (同時使用可能)

LED照明 (10W)  
6時間 [60Wh]

テレビ (150W)  
2.5時間 [375Wh]  
ルーター・TVブスター等 (10W)  
15時間 [150Wh]

湯沸かし器 (900W)  
0.2時間 [180Wh]

冷蔵庫 (70W)  
15時間 [1050Wh]

携帯電話 (2台10W):  
1時間 [10Wh]

炊飯器 (1200W)  
2回 [360Wh]

※蓄電池の劣化(容量保証15年・50%)を見込んで算出しています。  
 ※実際の使用環境・機器等によって、電力の使用可能時間が異なります。  
 ※停電時は、事前に計画されたスイッチ、コンセントのみ電気が使えます。

ご注意ください

停電が終わりましたら、必ず、普段の設定に戻してください。

知っておいてください

停電中に充電残量がなくなっても、翌日に太陽光が発電すれば充電できます。

普段 (電気代の節約を重視するとき)

OFF (0%)

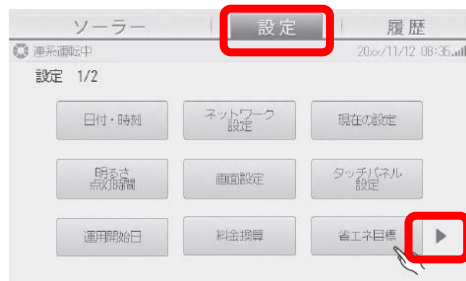
深夜に充電した 料金の安い電力を、朝から夜ですべて使います。

ご注意ください

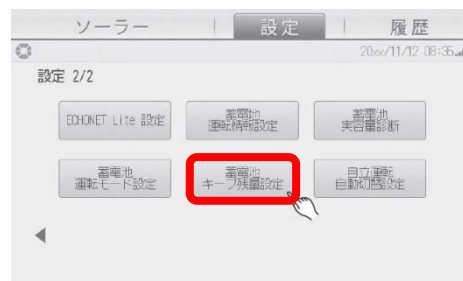
停電時に充電残量がない場合、翌日の太陽光が発電するまで、停電中は電気は使えません。

### 『キープ残量設定』を100%に変更する方法

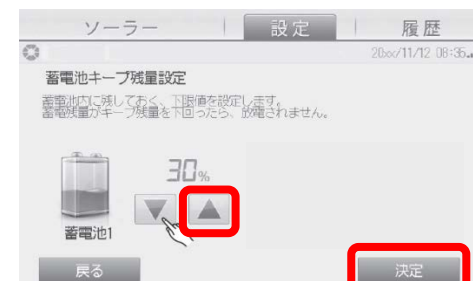
※リモコン画面は、太陽光発電、蓄電池ユニットが接続されている場合を示します。



①設定のタブをダブルし画面右下の『▶』をタップする。



②「蓄電池キープ残量設定」をタップする。



③『▲』をタップし100%まで残量設定を増加。決定をタップすると設定内容が反映されます。

※10%刻みで設定可  
減少時は『▼』をタップ